

水道ビジョンレビュー

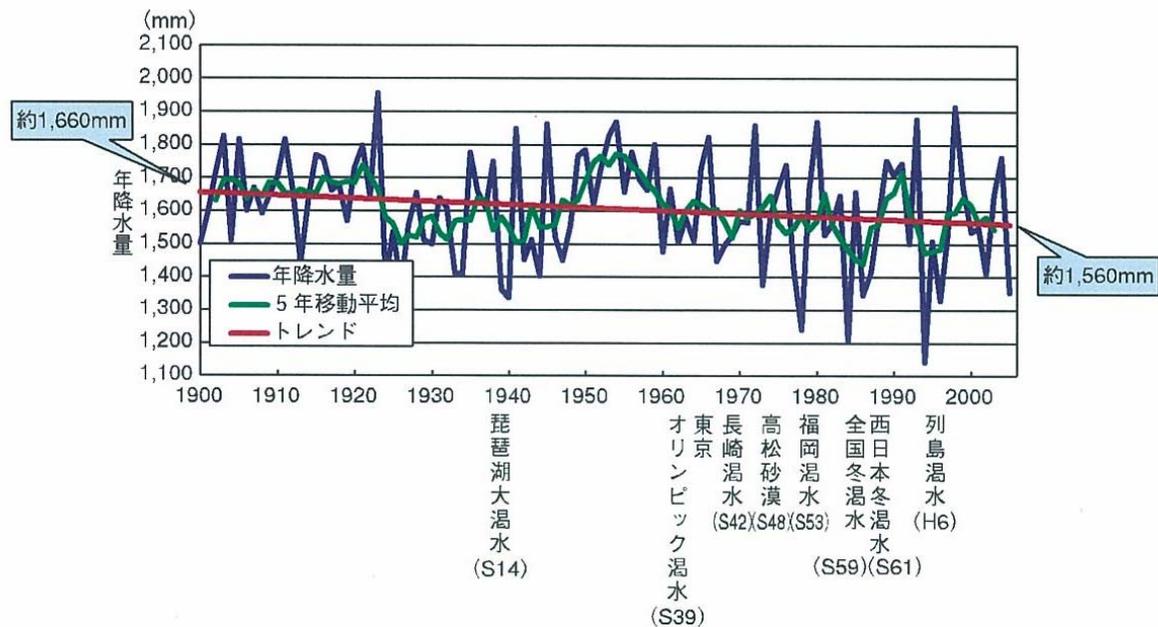
2. 水道の現況と将来の見通し

(2)いつでも使えるように供給されているか

○水資源をめぐる課題(その1)

近年の少雨化傾向

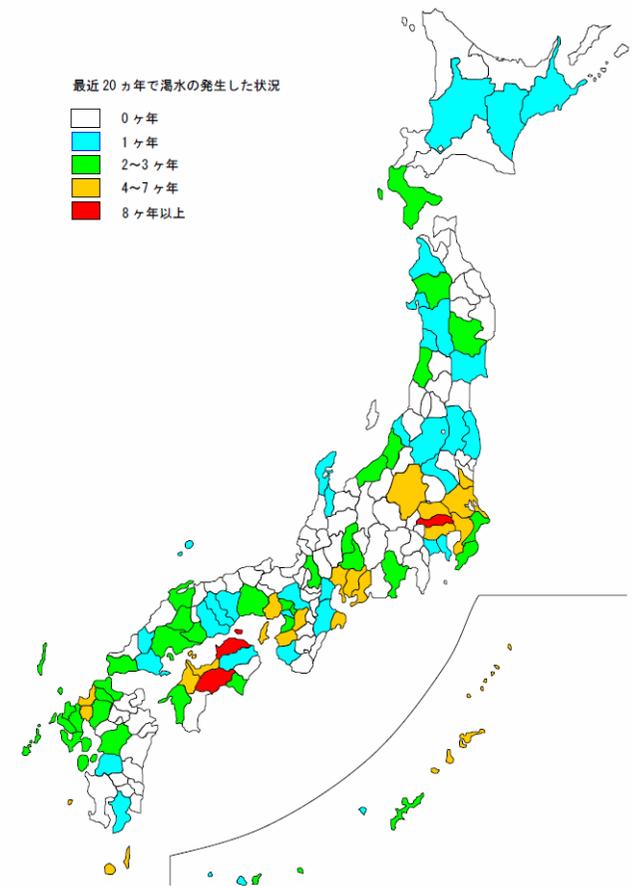
年降水量は約100年で100mm減少。
年降水量が減少するとともに毎年の降水量の変動幅が大きくなる傾向。



- (注) 1. 気象庁資料に基づいて国土交通省水資源部で試算。
2. 全国51地点の算術平均値。(地点名は、参考1-2-4を参照)
3. トrendは回帰直線による。
4. 各年の観測地点数は、欠測等により必ずしも51地点ではない。

出典: 日本の水資源(平成18年度版)

最近20ヶ年で渇水の発生した状況



(注) 1986年から2005年の間で、上水道について渇水のあった年数を図示したものである。

水道ビジョンレビュー

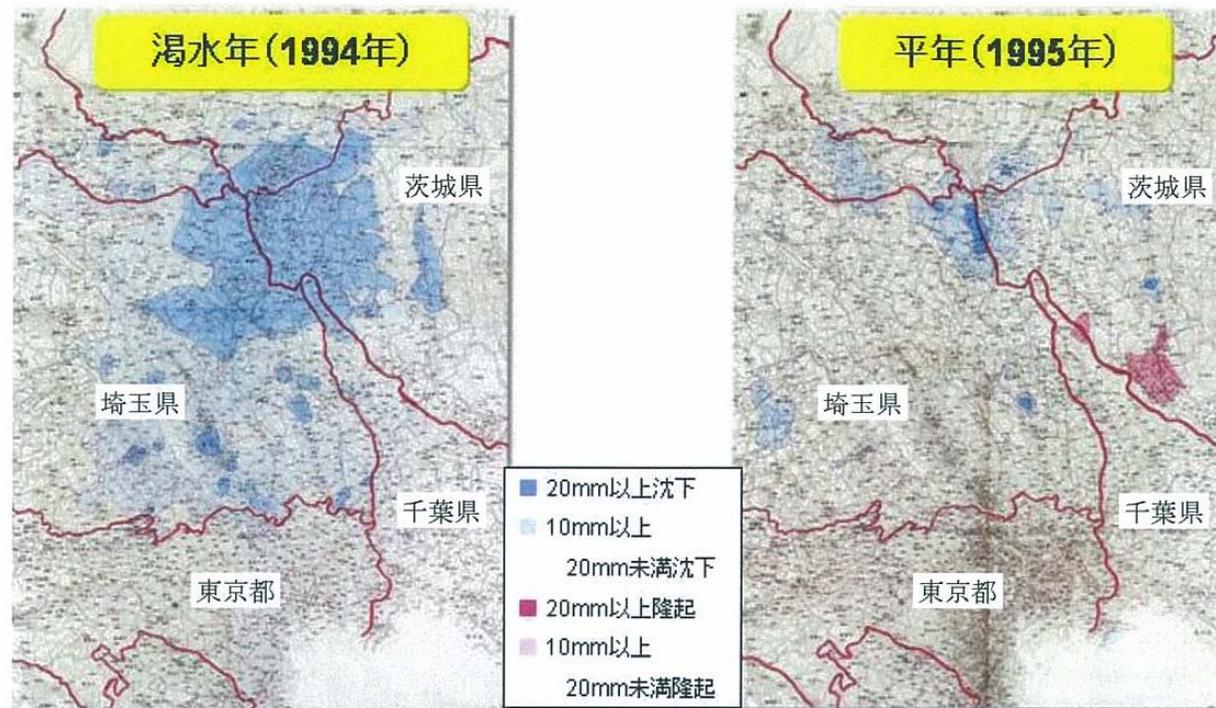
2. 水道の現況と将来の見通し

(2) いつでも使えるように供給されているか

○水資源をめぐる課題(その2)

渇水年における地盤沈下の進行事例(関東地区)

渇水年は、地表水減少に伴う地下水の利用量増加や地下水涵養量の減少により、地盤沈下が進行。



資料) 関東地区地盤沈下調査測量協議会編「関東地域地盤沈下等量線図」をもとに国土交通省水資源部作成

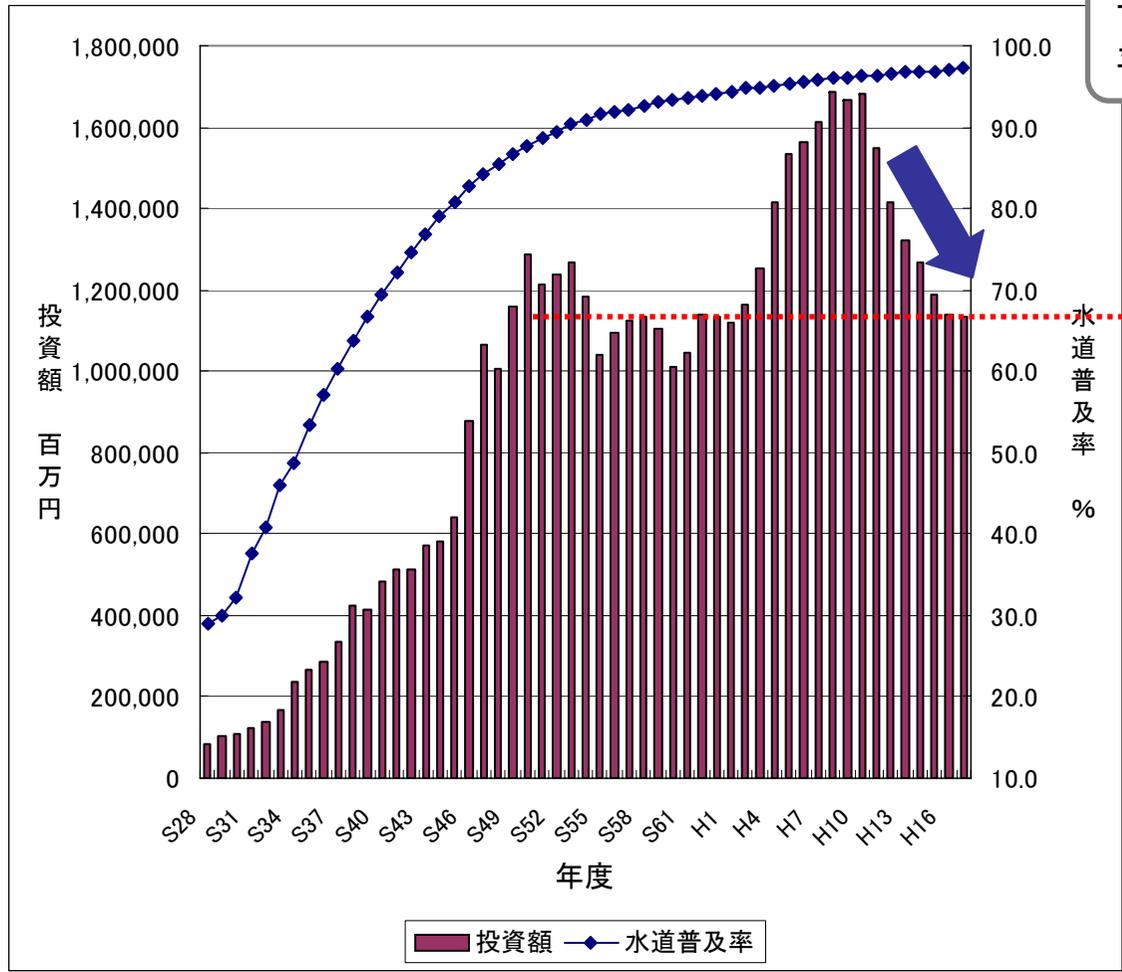
出典: 健全な地下水の保全・利用に向けて(国土交通省)

水道ビジョンレビュー

2. 水道の現況と将来の見通し

(3) 将来も変わらず安定した供給ができるようになっているか

水道への投資額の推移(平成17年価格)



平成10年度より減少傾向
平成17年度は、ピーク時の7割程度

1980年代の水準

出典:水道統計より作成